全体	52
個別	12-01

平成２９年度［　消　防　本　部　］　組織目標

課　名	総　務　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安全安心のインフラ整備

	項　目	地区消防団員の増員、車両の適正配置及び団員の安全装備品配備
	内　容	平成２８年度に創設した機能別消防団員の加入に伴い、消防団員の実員数は昨年度に比べ５人増加しました。 しかしながら、依然として基本消防団員の減少には、歯止めがかかっていない状況にあることから本年度も基本消防団員の増員を図ります。特に女性、若年層の消防団員の増員を図ります。 あわせて、本年度も引き続き消防団車両の適正配置及び消防団員の安全装備品の配備を行います。
	指　標 （数値目標）	【今年度】 ● 各地区基本消防団員の増員を図ります。 ● 団員安全装備品配備計画を継続します。 安全半長靴 【達成年度】 ● 同　上
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
消防団組織等改革推進委員会								○				○
消防団員増強に向けた活動	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
団員安全装備配備				⟷ 入札	⟷			⟷ 入荷予定	⟷		⟷ 配備	⟷

全体	53
個別	12-02

平成２９年度［　消　防　本　部　］　組織目標

課　名	警　防　課

No.	総合計画の区分	挑戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安全安心のインフラ整備
	項目	応急手当の普救啓発活動	
	内容	救急隊到着まで、現場に居合わせた市民による応急手当（心肺蘇生法・ＡＥＤの活用）は救命率の向上及び救命予後を左右すると言われ重要であります。また、全島で１９６事業所（公共施設、学校、民間施設等）に２１２基設置されているＡＥＤ活用の重要性について、年間を通してＣＡＴＶ、市報等で周知し、広く応急手当等の普及啓発活動を進め、救命率の向上を図ります。	
	指標（数値目標）	【今年度】 昨年度目標受講者数１，７００名に対し１，２２３名で、目標達成率は７１%にとどまり、若干低下傾向にあります。今年度引き続き応急手当及びＡＥＤの効果や重要性を訴え、普通救命講習及び救急法等を受講して頂くことにより、バイスタンダーの養成に努め、昨年以上の救急法等を指導推進し市民の安全安心の向上を図ります。 （目標受講者数：延べ１，３００名） 【達成年度】 同　上	
	達成時期	平成３０年　３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	救命講習指導推進	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
	推進広報の実施	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	54
個別	12-03

平成２９年度［　消　防　本　部　］　組織目標

課　名	予　　防　　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安心安全のインフラ整備
	項　　目	住宅用火災警報器設置促進、維持管理及び宿泊施設の消防用設備等設置促進	
	内　　容	１．住宅用火災警報器設置促進のため、火災予防運動や広報誌等を活用し、設置促進を図るとともにホームヘルパーや民生委員などに協力を依頼し、既設の住宅用火災警報器の維持管理の指導を行います。 ２．小規模既存宿泊施設に対する自動火災報知設備の早期設置指導及び防火管理の徹底を行います。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 １．住宅用火災警報器設置率５０％未満の地区をなくすとともに対馬市全域において設置率８０％以上となるよう向上を図ります。 ２．小規模既存宿泊施設に対する自動火災報知設備の設置猶予期間が、今年度末となっているため既存施設に対する指導徹底を図ります。 【達成年度】 同　上	
	達成時期	平成３０年　３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	住宅用火災警報器設置促進、維持管理	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
	宿泊施設の消防用設備等設置促進	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔